

【第 89 回対策本部会議】 7 月 15 日

健康福祉部長／首都圏では、東京都を中心に感染拡大が顕著になり、全国への影響も懸念されている。

福岡県は、まん延防止等重点措置の終了後、感染者数が増え、昨日は 95 人と気になる数字がでてきている。

本県は、9 日からの感染者数が 1 週間で 11 人。先週が 9 人だったので、大きな変化はない。7 月の新規感染者は 12 例あり、そのうち 10 例が発症前に福岡県での行動歴や、福岡県の人と接触を確認している。福岡県との往来、会食には警戒が必要。

ワクチン接種による集団免疫獲得まで、基本的な感染予防対策の継続をお願いしたい。

佐賀県へのファイザーワクチンの配分量の推移

国から、8 月 2 日以降の 2 週間分の配布量が示された。国の配分の考え方を説明する。

基本計画枠という、市町ごとの人口に応じて配分される枠がある。今回の配分量は、在庫が多い市町の基本計画枠を 1 割削減し、その削減された分を在庫の数や接種のスピードを加味し、調整枠として再配分された。

本県の 20 市町で削減されたところはない。同様の県は、全国で 8 県。九州では本県のみ。これは、20 市町がスムーズに接種を進めてくれた証。

今回は、基本計画枠で 61,000 回と調整枠の 24,000 回、合わせて 85,000 回分が配布される予定。

ファイザーワクチンの各市町配分量(第 11 クール発送)

基本計画枠で配分される箱数は 52 箱、調整枠として 21 箱が本県に入る。21 箱のうち 16 箱は、国から各市町に割り振られていて動かせない。県で調整できるのは 5 箱。これを 12 歳～64 歳人口を踏まえて配分・計画した。

玄海町に「ー」と表示しているのは、すでに 12 歳以上人口分のワクチンが届いているため。

知事／つまり、玄海町にはもうワクチンの配分はない、「済」ということ。

坂本副知事／「0」より「ー」だと思ったが、「終了」、「完了」、「済」がいいですね。

知事／「済」と表示されると、終了が見えてくるようがいい。

47 日間連続で感染者がゼロか 1 桁。今日は 6 人だが、うち 4 人は 1 家族。

○県内は落ち着いており、支え愛局面です。

「SAGA おいし〜と食事券」は、現在の販売実績が 9 割を超えている。食事券を使って支えてほしい。

「支え愛キャンペーン」も順調に予約が増えている。佐賀の人が佐賀の旅館やホテルに泊まることで、新しい佐賀の姿がみえてくることもある。佐賀の宿に泊まる支え愛もお願いしたい。

○感染が拡大している首都圏との不要不急の往来及び首都圏での会食は自粛してください。
昨日の東京都の感染者は 1,149 人。約半数がデルタ株に置き換わっていると聞く。最大限の警戒が必要で、引き続き首都圏との不要不急の往来、会食の自粛をお願いする。

○福岡県との往来・会食は特に警戒してください。

福岡県は増加傾向にあり、昨日は 95 人。一昨日と比べ倍増している。これまでは、首都圏が増え、次に大阪、福岡へと続き、近隣県の感染者が増加してきた。

今月の感染事例では、感染者の多い地域との往来、会食によるものが多い。現段階は警戒、慎重に行動し気をつければ抑えられると思う。

ワクチンの配分量に対する接種率は、佐賀県が全国 1 位。65 歳以上の高齢者の 2 回接種済みも 68%で全国 1 位。この 3 週間、65 歳以上の高齢者から陽性者は出ていない。

ワクチンの効果は 100%ではないが、この 3 週間の結果を見ると、ワクチンを打つ意義はあるのではないか。

ワクチンの供給は、皆さんの努力のおかげで調整枠を得ることができた。

玄海町は配分が終った。順番に希望される方に接種を進めていきたい。

2 回目の接種を終え、2 週間程度で効果が確実に出てくると言われている。その日数が経っていても、未接種の人もいるので、特に外出時はマスクの着用をお願いしたい。

連休やお盆で、帰省を予定している場合、今から人込みや会食を避け、徹底した感染対策をしてほしい。毎日の検温、症状の確認などの管理をして、調子が悪ければ、帰省を遠慮するという考え方を願う。

佐賀県の接種が順調に進んでいるのは、1 人 1 人の力の結集だと思う。医療現場、介護、教育現場の従事者、保健所やワクチン現場、県職員、さまざまな現場で尽力しておられる皆様からお礼を申し上げる。

佐賀県は慈しみの県。引き続き誹謗中傷は行わないように願う。

現場を見据え、チーム佐賀・オール佐賀、佐賀らしいやり方のコロナ対策で 1 つになって乗り越えたい。